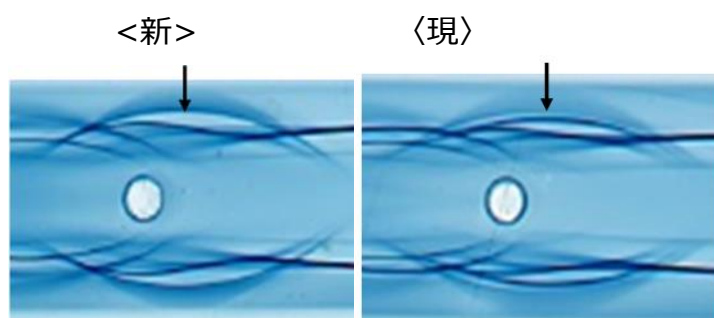


●免疫電気泳動〔抗ヒト全血清による同定〕

測定試薬終売に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。  
これに伴い、報告内容が変更となります。

▼泳動像の比較



新規試薬は、現行試薬と比較して Hemopexin の沈降線（図中矢印）が捉えづらく、正確な増減判断を行うことが出来ません。試薬変更後は Hemopexin を除いた全 11 種類の蛋白を増減判定対象といたします。

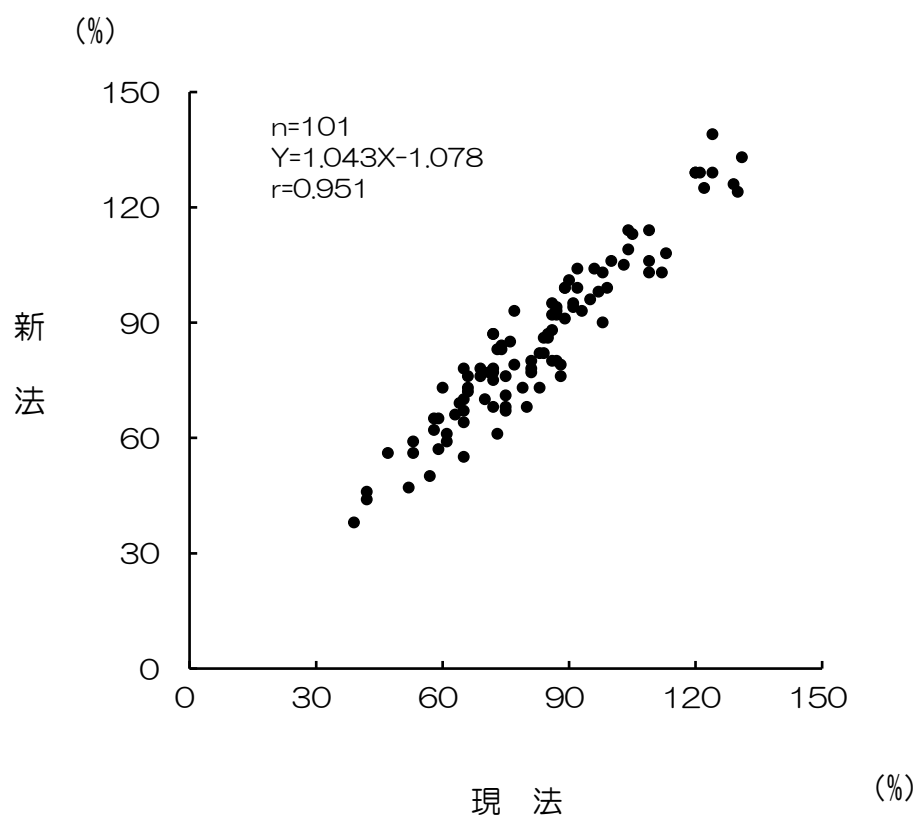
▼新報告書見本

検査項目		抗ヒト全血清による同定	0625	143	
1. Pattern					
正常					
患者 (0143)					
2. Result					
蛋白成分	減少	やや減少	正常	やや増加	増加
Prealbumin (Pre-A1b)					
Albumin (A1b)					
α-Antitrypsin (αAT)					
Haptoglobin (Hp)					
α-Macroglobulin (αM)					
β-Lipoprotein (βLp)					
Transferrin (Tf)					
βC/βA-globulin (C <sub>2</sub> )					
IgG					
IgA					
IgM					
- Pattern not suggesting a specific disorder					
責任医 					
<small>医療機関専用問い合わせ先(データインフォメーション) ☎ (042)646-5911 検査責任者 和田かおり</small>					
<small>SIRL 株式会社 エスアールエル &amp; 八王子店 東京都八王子市小宮町51番地</small>					

## ● プロテイン S(抗原量)

所要日数を短縮することが可能な測定試薬に変更させていただきます。  
これに伴い、検査方法、基準値、報告範囲、所要日数が変更となります。

## ▼現法と新法の比較

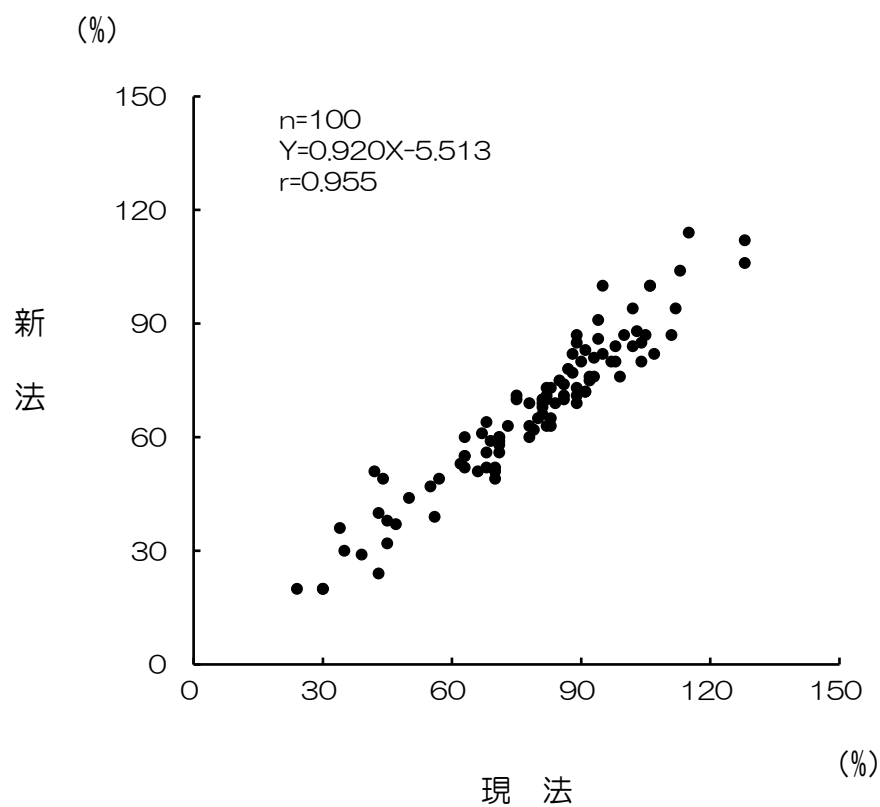


●検査方法参考文献 安藤 秀実, 他: 機器・試薬 41 (5) : 509~519, 2018.

## ● プロテインS(遊離型抗原量)

基準値をより詳細に設定した、試薬へ変更させていただきます。  
これに伴い基準値、報告範囲が変更となります。

## ▼現法と新法の比較



● 検査方法参考文献 安藤 秀実, 他 : 機器・試薬 41 (5) : 509~519, 2018.

## ● 可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。  
これに伴い、検査方法、基準値、報告範囲、検体量が変更となります。

## ▼現法と新法の比較

相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	28	3
	陽性	22	47

判定一致率：75% (n=100)

- 検査方法参考文献 八戸 雅孝, 他 : 臨床病理 60 (12) 別冊, 1139~1144, 2012.